特定非営利活動法人「里山バイオマスネットワーク」について

１．趣旨

私たちが住む地球は、温暖化という大きな問題を抱えています。温室効果ガスと呼ばれる二酸化炭素やメタンなどの濃度が上昇し、これからも同じようにこれらのガスを排出し続けていくと２１世紀末には、気温が1.4～5.8℃上昇、平均海面水位が0.09～0.88m上昇するとされています。

このまま化石燃料を使い続け、二酸化炭素を排出することは、異常気象など気候変動を引き起こし、生態系や人類の活動に取り返しのつかない事態を招く恐れがあります。

今、地球の温暖化に対しブレーキをかけるため、一人ひとりが自分たちでもできることから行動を起こしていく必要があります。

こうしたなかで、森林は木の成長過程において二酸化炭素を吸収し、幹や枝に長期にわたって蓄積し、二酸化炭素の吸収源・貯蔵庫として期待されています。

また、森林から生まれた木質資源に由来する燃料は燃えると二酸化炭素を発生しますが、再び森林の成長過程において吸収され木質資源となります。

私たちは、森林を二酸化炭素の吸収源として期待される状態に導くための整備を進め、その過程で生まれた未活用の木質資源を化石燃料の代替燃料として活用をする、木質バイオマスエネルギーの地産地消を進めるため、平成１８年５月に任意団体の「木質バイオマスエネルギー地産地消ネットワーク」を設立しました。

設立以後、個人・団体から１３８件の基金を募り、これを原資として、学校等へペレットストーブの無償貸出しを行ったり、木質ペレットの県内での製造について関係者と協議、試作を進めたり、また広く地域住民の皆様に木質バイオマスエネルギーの地産地消を呼びかけるためのフォーラムを開催してきました。

今後は、里山の整備・再生とそこから生まれるバイオマスエネルギーの循環利用を地域において定着化させて行くため、これまでの活動を踏まえ、さらに多くの人々に取組みの意義を理解してもらい、活動の輪を広げることとし「特定非営利活動法人 里山バイオマスネットワーク」を設立することとしました。

これによって里山バイオマスエネルギーの地産地消を確立し、地球温暖化に歯止めをかけ、[illegible]明るい未来を引き継ぐための環境づくりに寄与します。

特定非営利活動法人　里山バイオマスネットワーク　理事[illegible]

２．概要

（1）活動

① バイオマス資源利用の普及啓発活動
② バイオマス資源活用に係る調査研究活動
③ バイオマス関連商品の開発及び販売事業
④ 里山再生に向けた活動
⑤ 関連書籍の製作及び出版
⑥ その他、会の目的達成に必要な活動

（2）会員及び会費等

○会員は、趣旨に賛同する個人及び法人･団体とし、次の2種とします。
正会員　：実際に活動を行っていただく会員
賛助会員：資金面で協力いただく会員
○年会費は次のとおり（※入会金はなし）

（会　員）	個　人	3,000円	（賛助会員）	個　人	１口　3,000円
	団　体	5,000円		団体・法人	１口　10,000円
	法　人	20,000円			

【役員名簿】

役名	氏名
理事長	福田　正明
副理事長	瀬戸　武司
専務理事	林　幹夫
理事(事務局長)	平井美和子
理　事	有光　礼子
理　事	福田　玲子
理　事	安食　陽二
理　事	北脇　毅
理　事	川島　昇
理　事	佐藤　尚士
理　事	松近　保司

３．会員特典

① 催事の案内
② 情報誌送付
③ 薪・木質ペレット燃料の販売（会員特典あり）
④ 薪ストーブ、ペレットストーブの斡旋
⑤ ペレタイザーによるペレット製造（委託製造も可）

<キリトリ線>

入会申込書

お問合せ･お申し込みは事務局まで　E-mail：woodybiomass@mail.goo.ne.jp

お名前（ふりがな）	
住　所	〒　　－
電話/FAX	
E-mail	
1．会員（ ①個人　②団体　③法人 ）　2．賛助会員（ ①個人　②団体･法人 ）	